

8 衛生環境研究センター関係資料

表 衛生1 環境保全に関する試験研究

試験研究	概要	担当名
有害大気汚染物質調査	大気汚染防止法に基づき、平成9年度から一般環境等で揮発性有機化合物（VOC）等の有害大気汚染物質についてモニタリング調査を行っている。平成17年度は、6市の一般環境等で最大19項目の調査を行った。	大気・特定化学物質担当
浮遊粉じん調査	浮遊粉じんによる大気の汚染状況を把握するため、平成17年度は、その重金属成分等の調査を2市の固定発生源周辺で行うとともに、大分市の委託を受けて同市内の一般環境等で行った。	大気・特定化学物質担当
ダイオキシン類調査	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、平成12年度から環境大気、公共用水域水質、底質、地下水及び土壌のダイオキシン類の分析を行っている。平成17年度は、行政検査によるものが65検体であったが、調査研究として、これまでの分析データをもとに、ダイオキシン類の汚染実態とその由来を推定した。	大気・特定化学物質担当
交通環境・一般環境の大気測定調査	常時監視測定局の設置されていない道路沿道などの地域の大気汚染物質濃度の実態を把握するため、大気環境測定車により調査を行っている。平成17年度は、3市1町で調査を行った。	大気・特定化学物質担当
悪臭物質等調査	平成17年度は、悪臭等防止対策の資料とするため、1町の旧産業廃棄物最終処分場のアンモニア、硫黄化合物等の調査を行った。	大気・特定化学物質担当
環境放射能調査	放射能のバックグラウンドを測定し、環境放射能の水準を把握するため、文部科学省の委託を受け、昭和62年度から調査を行っている。平成17年度も引き続き、降水中のβ線や、モニタリングポスト及びサーベイメーターにより空間線量率の測定を行うとともに、大気浮遊じん、降下物、土壌、野菜、牛乳等のγ線を測定し、環境中に存在する放射性核種の調査を行った。	大気・特定化学物質担当
酸性雨調査	県内における酸性雨の実態と推移を把握し、発生メカニズムを解明することを目的として、昭和60年度から継続的に調査を行っている。平成17年度は、環境省の委託を受けて実施している竹田市久住町のほか、大分市、日田市の雨水のpH測定と成分分析を行った。	大気・特定化学物質担当
公共用水域の調査	昭和46年度から測定計画に基づいて実施しており、平成17年度は、39河川54地点、2湖沼6地点、8海域56地点において、生活環境項目、健康項目等について年4～12回の調査を行った。また、地下水についても、92地点で年1～2回の調査を行った。	水質担当
瀬戸内海広域総合水質調査	瀬戸内海関係府県が環境省の委託を受け、昭和47年度から実施している。平成17年度は、地先海域の14地点（2層）年4回の調査を行った。	水質担当
工場・事業場の排水監視に伴う水質調査	水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく規制対象事業場の排水監視のため、一般項目及び健康項目について延べ421検体の水質調査を行った。	水質担当
産業廃棄物調査	産業廃棄物の処理施設から排出される排水及び浸出水等について、有害物質を中心に67検体の調査を行った。	水質担当

表 衛生 2 大気汚染等に関する調査分析件数

(平成17年度)

区 分	行政検査		委託業務検査		調査研究		計	
	検体数	成分数	検体数	成分数	検体数	成分数	検体数	成分数
総 計	397	3,743	238	1,179	113	1,188	748	6,110
有害大気汚染物質調査	297	1,012					297	1,012
浮遊粉じん調査	24	120	73	604			97	724
ダイオキシン類調査	65	2,535			2	78	67	2,613
交通環境・一般環境調査	4	27					4	27
悪臭物質等調査	7	49					7	49
環境放射能調査			125	175			125	175
酸性雨調査			40	400	111	1,110	151	1,510

表 衛生 3 水質汚濁に関する調査分析件数

(平成17年度)

区 分	行政検査		依頼検査		調査研究		計	
	検体数	成分数	検体数	成分数	検体数	成分数	検体数	成分数
総 計	2,499	20,532	12	93	81	847	2,592	21,472
公共用水域等の調査	1,765	15,173					1,765	15,173
瀬戸内海広域総合水質調査(環境省委託)	112	1,400					112	1,400
海水浴場調査	108	216					108	216
工場・事業場排水監視水質調査	421	2,328					421	2,328
産業廃棄物調査	67	1,318					67	1,318
未規制化学物質調査	14	28					14	28
企業局工業用水調査			12	93			12	93
芹川ダムの水質改善に関する研究					81	847	81	847
そ の 他	12	69					12	69

9 大分県新環境基本計画の推進状況

表 指標 環境指標一覧

基本目標Ⅰ 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

	指標項目	単位	基準年度	目 標		実績値	評 価 (A・B・C)	評価 方法
			H16	H22	H27	H17		
1	自然公園指導員の委嘱数	人	56	62	67	57	A	2
2	景観行政団体	団体	2	7	10	5	A	2
3	鳥獣保護区特別保護地区の指定箇所数	箇所	10	10	10	10	A	2
4	特に保護が必要な希少野生動植物の指定数	種	—	15	20	H18.10.1条例施行のためH17は対象外		
5	森林面積（民有林）	千ha	402	402	402	402	A	1
6	河川整備計画策定箇所数	水系	8	13	20	10	A	2
7	モニタリングを行う源泉数	孔	9	10	12	10	A	2
8	利用者に分かりやすい温泉表示認証件数	件	—	200	250	62	A	3
9	環境保全活動を行うNPO法人数	法人	76	140	180	115	A	2
10	一人あたりの都市公園面積	m ² /人	10.8	12	13	11.1	A	1
11	「道の駅」設置数	箇所	16	18	—	17	A	2
12	電線類の地中化延長	km	41	65 (H20)	—	45	A	2
13	都市計画区域内道路における道路緑化率	%	21.3 (H15)	23.4 (H19)	—	別途計画あり H19実績をH20に調査		
14	人工海浜の箇所数	箇所	4	5	6	4	A	2
15	中山間地域の集落活動 〈集落協定締結面積(割合)〉	ha (%)	13,850 (75.0)	14,900 (80)	15,800 (85)	13,603 (74)	A	1
16	漁場再生面積	ha	—	11,000	19,000	2,953	A	2
17	国、県指定文化財件数	件	835	870	900	841	A	2
18	県立歴史博物館、県立先哲史料館の入館者数	人	105,440	117,440	127,440	86,963	B (81.2%)	2

基本目標Ⅱ 循環を基調とする地域社会の構築

	指標項目	単位	基準年度	目 標		実績値	評 価	評価方法
			H16	H22	H27	H17	(A・B・C)	
19	オキシダント環境基準達成率	%	95.2	97	98	95.6	A	2
20	低公害車の普及率	%	18.5	30	50	23.2	A	2
21	大分都市圏の渋滞による経済損失額	億円/年間	515.4 (H15)	501.8 (H19)	—	別途計画あり H19実績をH20に調査		
22	道路交通騒音の環境基準達成率	%	—	85	90	83.9 (H16)	A	3
23	一般環境騒音の環境基準達成率	%	85.7 (H15)	90	100	87.3 (H16)	A	2
24	海域の環境基準達成率	%	76.2	86	100	76.2	B (97.9%)	2
25	河川の環境基準達成率	%	100	100	100	97.6	B (97.6%)	2
26	生活排水処理率	%	58.6	75	90	60.6	B (98.8%)	1
27	地下水水質調査地点数（累計）	地点	2,119	2,800	3,400	2,250	A	2
28	化学物質の移動量・排出量	t	2,949.5 (H15)	可能な限り 削減	可能な限り 削減	3,291.2 (H16)	B (数値評価不能)	3
29	化学肥料の使用量	t	7,919 (H15)	7,100	6,400	7,650	A	2
30	農薬の使用量	t	2,496 (H15)	2,200	2,000	2,339	A	2
31	一人一日当たりごみ排出量	g/人・日	1,116 (H15)	1,066 以下	1,041 以下	1,105 (H16)	A	2
32	一般廃棄物リサイクル率	%	16.7 (H15)	19以上	22以上	19.0 (H16)	A	2
33	産業廃棄物リサイクル率（動物のふん尿及び鉍さいを除く）	%	31.0 (H12)	40以上	43以上	5年に1回の廃棄物実態調査で 把握 H17実績をH18に調査		
34	廃棄物系バイオマス利用率	%	69 (H15)	91	93	79 (H16)	A	2
35	未利用バイオマス利用率	%	67 (H15)	76	81	67 (H16)	B (98.8%)	2
36	エネルギー利用量（原油換算）	万ℓ	4.4 (H15)	5.1	5.6	4.4 (H16)	B (98.2%)	2

基本目標Ⅲ 地球環境問題への取組の推進

	指標項目	単位	基準年度	目標		実績値	評価	評価方法
			H16	H22	H27	H17	(A・B・C)	
37	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算) (家庭・業務・運輸部門)	千t-CO ₂	(39,952) (H14) 5,217	4,835	—	5,075 (H15)	A	2
38	エコエネルギーによる化石燃料代替効果	万kl	65.6	74	80	67.8	A	2
39	住宅用太陽光発電施設設置数	件	2,784 (H15)	9,000	10,000	3,815 (H16)	A	2
40	育成複層林面積(民有林)	ha	623	10,000	20,000	1,256	A	1
41	森林ボランティア活動への参加者数	人/年	6,848	9,500	11,500	7,975	B (96.1%)	2
42	フロン等の回収率 (カーエアコン)	%	41 (H15)	50	60	48	A	2

基本目標Ⅳ 環境産業の育成

	指標項目	単位	基準年度	目標		実績値	評価	評価方法
			H16	H22	H27	H17	(A・B・C)	
43	県助成制度による企業の研究開発件数(含産学官)(累計)	件	19 (過去10年間)	40	55	24	A	2
44	大分県リサイクル認定製品地方公共団体利用件数(累計)	件	7	70	100	102	A	2
45	I S O 14001登録件数(累計)	件	99	180	240	122	A	2

基本目標Ⅴ すべての主体が参加する地域社会の形成

	指標項目	単位	基準年度	目標		実績値	評価	評価方法
			H16	H22	H27	H17	(A・B・C)	
46	ごみゼロ隊登録数	団体	1,083	1,500	2,000	1,601	A	1
47	県民一斉ごみゼロ大行動への参加者延人数	人	117,419	200,000	400,000	233,190	A	1
48	夏の夜の大作戦(キャンドルナイト)への参加施設数	施設	475	1,500	2,000	1,154	A	1
49	環境教育アドバイザー派遣団体数	団体	36	70	90	57	A	1
50	こどもエコクラブ参加者数	人	862	1,400	2,000	881	A	1

環境指標の評価方法

(1) 評価(A・B・C)の区分について

- 「A」 平成17年度の目標数値を達成している場合(超過している場合を含む)
- 「B」 平成17年度の目標数値の7割以上を達成している場合
- 「C」 平成17年度の目標数値の7割未満である場合

(2) 評価方法について(平成17年度の目標数値の定め方)

- 「1」 平成17年度の目標数値が定められている場合
- 「2」 平成17年度の目標数値が定められていない場合で、基準年度(平成16年度)から中間年度(平成22年度)の間での増減数字を年度数の「6」で除したものを平成17年度の目標数値と定めたもの
- 「3」 平成17年度の目標数値が定められていない場合で、他の合理的な算出方法により平成17年度の目標数値を定めたもの

